

令和7年度 第3回 海老名市・県フルインクルーシブ教育推進会議【議事概要】

1. 開催の状況

- (1) 開催月日：令和8年2月9日（月）15:00～16:30
- (2) 開催場所：えびなこどもセンター 201 会議室
- (3) 出席者：15名

2. あいさつ

- 伊藤教育長（海老名市教育委員会）より、これまで2年間の対話の積み重ねを踏まえ、校内支援体制の充実を中心に、具体的な成果を生み出す段階である旨、あいさつがあった。
- 花田教育長（神奈川県教育委員会）より、令和8年度当初予算案において、市内全19校への後補充非常勤職員配置を計上し、校内支援体制の整備を後押ししていく旨、あいさつがあった。

3. 報告

(1) 令和7年度の主な取組について【資料1】

- 事務局より、令和7年度の主な取組について、資料1に基づき、報告がなされた。

(2) 調査研究部会による提言について【資料2】

- 調査研究部会の中村部会長より、資料2に基づき、今年度の調査研究を踏まえ、海老名市におけるフルインクルーシブ教育の実現に向けて提言がなされた。

（主な意見）

- ・ 提言の内容をぜひ次年度の取組に活かしてほしい。また、調査研究部会には継続した研究を期待している。

(3) 県の令和8年度当初予算案について【参考資料2】

- 事務局より、県の令和8年度当初予算案について、参考資料2に基づき、報告がなされた。

※海老名市フルインクルーシブ教育推進協議会の進捗について【資料3】、および県外視察について【資料4】、事務局より書面にて報告がなされた。

4. 議題

(1) 令和7年度の外部評価について【資料5】【資料5-2】

- 事務局より、令和7年度の外部評価について、資料5に基づき、説明がなされ、その後、協議を行った。資料5の内容については了承され、資料5-2の内容については今後検討することを確認した。

(2) 令和8年度以降の推進計画

ア 校内支援体制の充実について【資料6】

- 事務局より、校内支援体制の充実に係る教育支援コーディネーター（以下、教育支援Co、とする）の運用について、資料6に基づき、説明がなされ、その後協議を行った。

(主な意見)

- ・ この取組について、教育支援Co本人や教職員だけでなく、児童・生徒や市民に向けても周知していく必要があり、そのための方法を考えてほしい。
- ・ 教育支援Coの人材育成について、体系的な研修計画を検討すべきではないか。
- ・ 今後、教育支援Coに授業負担軽減のための後補充非常勤講師を配置することで、どのような成果があったのか検証する必要がある。

イ 就学相談のあり方について【資料6-2】

- 事務局より、就学相談のあり方について、資料6-2に基づき、説明がなされ、その後協議を行った。

(主な意見)

- ・ 特別支援学校に在籍する児童・生徒と海老名市教育委員会が定期的な面談をすることは、地域の子として関わり続けていく、という意味でとても有意義である。
- ・ 居住地交流の拡大については、回数だけでなく、その内容を充実させていくことも重要であると捉えてほしい。
- ・ 居住地交流について、特別支援学校と市立小・中学校の連絡調整に係る業務負担を軽減するための方法等についても検討が必要である。

ウ 県内シンポジウムについて【資料6-3】

- 事務局より、令和8年度海老名市フルインクルーシブ教育シンポジウムについて、資料6-3に基づき、説明がなされ、その後協議を行い、継続的に検討していくことが確認された。

5. 事務連絡

- 令和8年度第1回推進会議は、5月11日（月）海老名市役所で実施予定

以上